【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和7年2月17日(2025.2.17)

【国際公開番号】WO2024/013932
【出願番号】特願2024-533440(P2024-533440)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｃ 33/44(2006.01)
Ｆ１６Ｃ 19/06(2006.01)
Ｆ１６Ｃ 33/41(2006.01)
Ｂ２９Ｃ 45/46(2006.01)
Ｂ２９Ｃ 45/27(2006.01)
Ｂ２９Ｃ 45/37(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｃ 33/44
Ｆ１６Ｃ 19/06
Ｆ１６Ｃ 33/41
Ｂ２９Ｃ 45/46
Ｂ２９Ｃ 45/27
Ｂ２９Ｃ 45/37

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月4日(2024.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
環状体と、前記環状体の周方向に間隔をあけて前記環状体から軸方向一方側に突出する複数のつのと、を備え、転がり軸受の複数の転動体を転動自在に保持する複数のポケットが、それぞれ周方向に隣り合う前記つの同士の間に形成された合成樹脂製の保持器であって、
周方向に間隔をあけて形成された複数のゲート痕と、
周方向に隣り合う前記ゲート痕同士の間に形成されたウェルドと、
前記ゲート痕同士の間にそれぞれ配置され、前記各ポケットが形成される複数のポケット形成部と、を備え、
前記各ポケット形成部は、前記ポケットの底部に、軸方向に貫通して形成された貫通孔を有し、
前記ウェルドは、前記ゲート痕同士の間において、前記貫通孔よりも周方向一方側の領域のみ又は周方向他方側の領域のみに形成され、
前記ウェルドは、
軸方向視において径方向全体に延びる第１ウェルド部と、
軸方向視において前記第１ウェルド部の径方向の途中位置から前記貫通孔まで周方向に延びる第２ウェルド部と、を有する、保持器。
【請求項２】
前記各つのが形成される複数のつの形成部をさらに備え、
全ての前記つの形成部に、それぞれ１つの前記ゲート痕が形成されている、請求項１に記載の保持器。

【請求項３】
前記環状体と前記複数のつのとを備える一対の環状部品が、軸方向に連結して構成され、
一対の前記環状部品のそれぞれの前記つの同士が連結されて構成された柱を備える請求項１又は請求項２に記載の保持器。
【請求項４】
内輪と、外輪と、前記内輪と前記外輪との間に配置された複数の転動体と、請求項１又は請求項２に記載の保持器と、を備える転がり軸受。
【請求項５】
複数のランナーと、前記各ランナーに接続された複数のゲートと、前記複数のゲートが周方向に間隔をあけて接続された環状のキャビティと、を備える金型により、請求項２に記載の保持器を成形する方法であって、
前記キャビティには、前記各ポケット形成部が成形される複数のポケット成形空間と、前記各つの形成部が成形される複数のつの成形空間と、が周方向に交互に形成され、
全ての前記つの成形空間に、それぞれ１つの前記ゲートが接続されており、
前記各ランナーから前記ゲートを介して前記キャビティに溶融樹脂を流し込むときに、周方向に隣り合う２つの前記ゲートのうち、一方の前記ゲートから流し込む溶融樹脂の体積を、他方の前記ゲートから流し込む溶融樹脂の体積よりも多くする、保持器の成形方法。